
岐阜県立東濃高等学校

学 校 長 青 井 俊 久
学 校 住 所 可児郡御嵩町御嵩 2854-1
0574-67-2136 fax0574-67-6204
ホームページ <https://school.gifu-net.ed.jp/tono-hs/>

1 会 議 名 東濃高等学校 学校運営協議会 (第2回)

2 開催日時 令和3年11月9日(火)

3 開催場所 東濃高等学校 大会議室

4 参加者 委 員 寺本 公行 御嵩町副町長
田中 妙子 会社経営・税理士
山田 泰平 東海化成工業(株)
三澤 秀之 東濃高等学校PTA会長
仲谷 ちぐさ 東濃高等学校PTA副会長
井口 和広 東濃高等学校PTA副会長
綴綴 江美 東濃高等学校PTA書記
井戸 くるみ 東濃高等学校PTA会計

学 校 側 青井 俊久 校長
高水 正明 教頭
服部 一也 教務主任
前田 知美 生徒指導主事
大宮 学 進路指導主事

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校評価について

意見1: 学校からの送付文書が届かないことに保護者は不便と感じているのかどうか。届かないことがすなわち不便とは限らないが、そこを聞いてもよいのではないか。

意見2: 「わからない」と回答した理由を調べてはどうか。

意見3: 「お子様(生徒)はよろこんで学校に通っている」(保護者)や、「本校に入学できてよかったと思っている」(生徒)という数値が高いのはよいことだ。

(2) スクール・ポリシーについて

意見1： グラデュエーション・ポリシー（以下GP）をはじめカリキュラム・ポリシー（以下CP）、アドミッション・ポリシー（以下AP）それぞれ、人間性、多様性、地域という3つの観点で構成されている。外国につながる生徒が多いという特徴を押出すなら、順序を変えて多様性に関することを一番目にしてもよいのではないか。

意見2： GP、CP、APの中の順序は気にしなくてもよいのではないか。

意見3： CPについて、GPに則した手法・内容になっている。

意見4： APについて「基本的な生活習慣が身に付いており、ルール・マナーが守れる生徒」の“守れる”の前に「意欲的に」を付け加えてはどうか。

意見5： 基本的な生活習慣に関することを高校に入ってからまでやるのかと思わないだろうか。

意見6： 守れていないから入学できないわけではない。また、APは『どんな生徒を待っているか』だから、このままでよいのではないか。

意見7： 保護者の思いと教員の思いを汲み取ることと、現状をしっかりと把握しながら今後の学校づくりを考えていく両方の視点が必要だ。

(3) 県立学校体育施設開放について

意見1： 学校開放を今まで実施していて、今後も実施していくということだが、開放にあたって地域住民として困っていることは特にない。

意見2： 学校側として、体育の授業やその他で困りごとがないようにしていければよいのではないか。

6 会議のまとめ

感染予防の観点から昨年度は実際の活動の様子を見ることができなかったが、今年度は1年生の演劇ワークショップを参観した。実際の生徒の活動する様子を見る機会を作ることができたことはよかったのではないか。

学校評価については、昨年度までと有効回答数が大きく異なることや、保護者の解答数が減り、反対に生徒はほぼ全員回答したことから、昨年度までのデータと単純比較はできない。評価の内容については今年度後半の課題として取り組んでいきたい。スクール・ポリシーについては提案した内容に概ね賛同を得られたが、委員の方から出された意見を職員会議等でさらに検討し、第3回の学校運営協議会にて決定できるように進めていく予定である。学校開放については、今までの取組の継続していく。また、学校行事等については、緊急事態宣言等の影響で昨年度同様に、予定を延期するなどして実施している。今年度は、昨年度は中止となった国際たくみアカデミーでの「体験授業」や球技大会が実施でき、委員へよい報告ができた。今後も感染症対策のガイドラインを遵守しながらの後半の行事に取り組んでいく。